



国際観光コンベンションフォーラム2006

持続可能な地域づくりと観光コンベンションの役割 ～集客交流の未来を探る～

グローバル化による「自由で豊かな移動と交流」が、地域の経済・文化の豊かさにつながるとき、観光やコンベンションという集客交流が持続可能な地域づくりに貢献することに思いいたります。持続可能な地域づくりを図るには、地域と地域、地域の産・官・学が連携し、理論・技術を鍛え、その担い手を育てることが急務です。

地域には、観光、コンベンションに関する組織や人材、ビジネスが数多く存在しています。また、多くの大学に「観光学」が生まれ、新たな学問と人材を育てようとしています。そこで、地域の産・官・学をむすび、観光コンベンションの理論と技術、人材を育てることを目的に「国際観光コンベンションフォーラム2006」を開催いたします。観光分野の研究者、全国の地方自治体、観光協会・コンベンションビューロー、観光コンベンション業界、コンベンション施設等関係者、そして市民の皆さまの熱い議論をお待ちしています。

| シンポジウム | 分科会；ラウンドテーブルミーティング |
|--|--|
| 第1日 2006年10月19日（木）13：30～17：45 大会長挨拶 石森 秀三 北海道大学観光学高等研究センター長 第一部 記念講演（一般公開講演） 「地域密着の球団づくり」 藤井 純一 北海道日本ハムファイターズ代表取締役社長 （休憩） 第二部 パネルディスカッション 「持続可能な地域づくりと観光コンベンションの役割 ー集客交流の未来を探る」 コーディネーター 木村 篤子 北海道新聞情報研究所企画調査センター副センター長 パネリスト 山田 桂一郎 JTIC SWISS代表 ヒロ 中田 リクルート北海道じゃらん 執行役員編集長 石森 秀三 大会長 第三部 18：00～ 交流会 | 第2日 2006年10月20日（金）9：30～12：30 トークセッション1 「夕張を考えるー地域に根ざした観光コンベンションとは」 キーノートスピーカー 吉岡 宏高 札幌国際大学観光学部助教授 コーディネーター 石森 秀三 大会長 トークセッション2 「公共をめぐる冒険ーコンベンション施設機能と官民の役割」 キーノートスピーカー 小松 史郎 三菱総合研究所地域経営研究センター研究部長 コーディネーター 渡辺 厚 情報伝達研究所代表取締役 トークセッション3 「進化するツーリズムー環境と地域の持続可能な発展にむけて」 キーノートスピーカー 宇仁 義和 東京農大生物産業学部助教授 コーディネーター 伏島 信治 伏島プランニングオフィス代表 11：30 シンポジウム総括&閉会式 各コーディネーターからの発表 フォーラム終了後（13：00）～17：00 観光コンベンション施設・北海道酒蔵まつり2006等視察 （モエレ沼公園、サッポロさとらんど等） |
| 会場 サッポロファクトリーホール 札幌市中央区北2条東3丁目 | 会場 サッポロファクトリー内各会場 札幌市中央区北2条東4丁目 |

※各プログラムの講演者は都合により変更になる場合があります。

登録料（報告抄録付、交流会費含む） 一般；10,000円、学生；5,000円
 （報告抄録付） 8,000円、 3,000円
 視察参加費（昼食・バター作り体験・試飲付） 2,000円（一般・学生とも）

お問合せ
お申込み

事務局 札幌国際プラザ・コンベンションビューロー事業企画課内
 TEL：011-211-3675 〒060-0001札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
 別紙の申し込み用紙にご記入の上、FAX、郵送または同内容をEmailでご連絡ください。
 FAX：011-232-3833／Email news@sapporo-convention.net
 申込み締切：2006年10月13日（金）

大会長 石森 秀三 北海道大学観光学高等研究センター長
 副大会長 越塚 宗孝 札幌国際大学観光学部長、西川 博史 北海商科大学商学部長
 主催／食と観光のコンベンション実行委員会（札幌市、(財)札幌国際プラザ、(財)札幌市芸術文化財団、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク、NPO法人めーでる、NPO法人あすらんて制作委員会、北海道イベント推進協議会、北海道酒造組合）
 主管／NPO法人コンベンション札幌ネットワーク
 後援／北海道運輸局、北海道、独立行政法人国際観光振興機構、日本コンGRES・コンベンションビューロー、北海道観光連盟、札幌観光協会、北海道観光戦略会議、日本イベントプロデュース協会

連携事業

- ◇「北海道酒蔵まつり」 北海道産品としての「酒」の紹介、宣伝の場として実施。道内蔵元の地酒・ワイン・焼酎の試飲、販売、道産米の紹介
- ◇「北海道を食べよう」 ・「どっさり北海道!!」北海道が誇る食材、食品、酒の着など展示・即売
 ・ミニトークショー「地産地消おにぎりランチ」／「札幌スイーツとハーブティーのすてきな午後」
- ◇「北海道再発見」 「はなたび北海道」フォトコンテスト入賞作品展／「札幌再発見～札幌市写真ライブラリー古建築写真ワークショップ」

国際観光コンベンションフォーラム2006

持続可能な地域づくりと観光コンベンションの役割 ～集客交流の未来を探る～

第1日 2006年10月19日（木）13：30～17：45 シンポジウム

第一部 記念講演（一般公開講演）

「地域密着の球団づくり」 藤井 純一 北海道日本ハムファイターズ代表取締役社長

2006年大躍進の北海道日本ハムファイターズ。北海道に本拠地を移して3年。地域密着の球団づくりが実を結び、地元の熱い応援が連日、札幌ドームを沸かす。若手選手の育成とともに、日本ハムを強いチームへと大変身させる大きな要因となった地元との連携。商店街との交流、野球教室の開催など地道な活動とそのねらいを語る。



第二部 パネルディスカッション

「持続可能な地域づくりと観光コンベンションの役割－集客交流の未来を探る」

グローバリズムのなかで地域の持続可能性を確立するために、観光コンベンションはどのような役割を果たすのか。地方自治体や地域の疲弊という現実のなか、地域の資源を生かし、価値を生み出すために、重要な鍵を握るのは何だろうか。地域活性、ホスピタリティ、サービスを担う人材育成など、地域の魅力を高め、持続的発展を可能にするための多様な知恵を語る。

コーディネータ 木村 篤子 北海道新聞情報研究所企画調査センター副センター長
パネリスト 山田 桂一郎 J.T.I.C. SWISS代表
ヒロ 中田 リクルート北海道じゃらん 執行役員編集長
石森 秀三 大会長・北海道大学観光学高等研究センター長

第2日 2006年10月20日（金）9：30～12：30 分科会；ラウンドテーブルミーティング

トークセッション1

「夕張を考える－地域に根ざした観光コンベンションとは」

財政再建団体となった夕張市は、炭鉱閉山による地域の衰退に抗し、これまで「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」をはじめ、観光コンベンション開発に邁進してきた。「夕張」とは、産業の衰退に直面した同様の地域の「記号」に他ならない。結果として地域の持続可能性を危ぶませたその問題を明確にし、その教訓に学ぶことで、次世代の地域の希望を探る。

キーノートスピーカー 吉岡 宏高 札幌国際大学観光学部助教授
コーディネータ 石森 秀三 大会長・北海道大学観光学高等研究センター長

トークセッション2

「公共をめぐる冒険－コンベンション施設機能と官民の役割」

この間進められてきた国家レベルの行財政改革は、地域の持続可能性に大きなインパクトとなってきた。とりわけ公共セクターから民間セクターへの「公共性」の移管は、指定管理者制度、PFI、PPPの導入など各地で具体的な取り組みとなって進められてきたが、その一方で様々な問題を派生させている。コンベンション施設を切り口に、公共性をめぐる官民協働の現実に向ける。

キーノートスピーカー 小松 史郎 三菱総合研究所 地域経営研究センター 研究部長
コーディネータ 渡辺 厚 情報伝達研究所代表取締役

トークセッション3

「進化するツーリズム－環境と地域の持続可能な発展にむけて」

エコツーリズム、エコミュージアム、産業遺産、歴史遺産、グリーンツーリズム、ファクトリーツーリズムなど、新しい観光、進化する観光のかたちが生まれている。その一方で、世界遺産となった知床、屋久島などでは、観光による環境破壊という事態が起こっている。環境・地域の持続可能性と、観光・コンベンション開発はどう共存していくのか。新たなツーリズム思想へアプローチする。

キーノートスピーカー 宇仁 義和 東京農大生物産業学部助教授
コーディネータ 伏島 信治 伏島プランニングオフィス代表

◇観光コンベンション施設・北海道酒蔵まつり2006等視察(オプション) フォーラム終了後(13：00)～17：00

モエレ沼公園(昼食) ガラスのピラミッド、サッポロさとらんど バター作り体験、北海道酒蔵まつりにて見学と試飲等(予定)
※最小催行人数 6名